

CITY OF YOKOHAMA

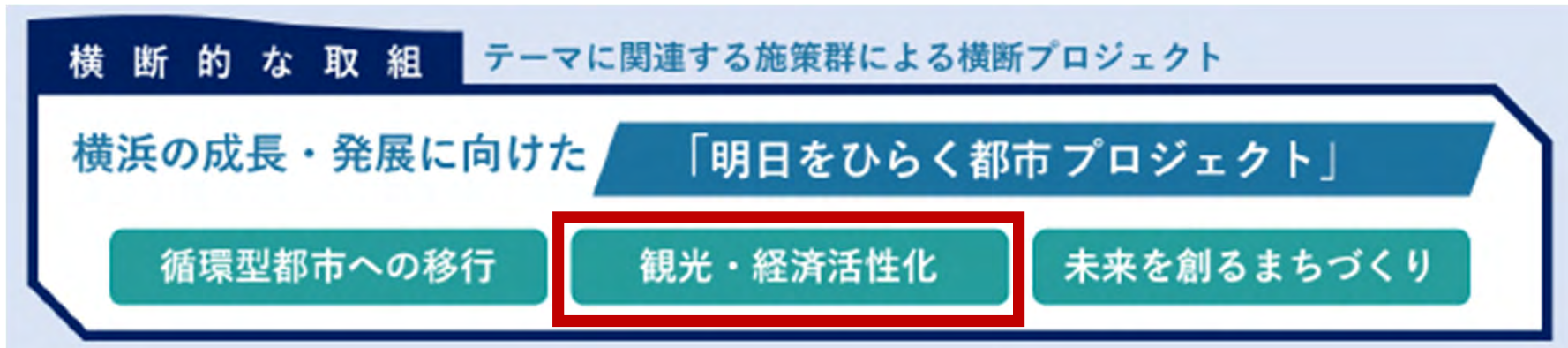
2025年の観光入込客数、観光消費額 ともに過去最高値を更新！

2026年6月30日
市長定例記者会見



横浜市

1 はじめに



※横浜市中期計画2026-2029

横浜の持続的な成長・発展に向け、
国内外から人を呼び込み、にぎわいによる経済活性化を目指す

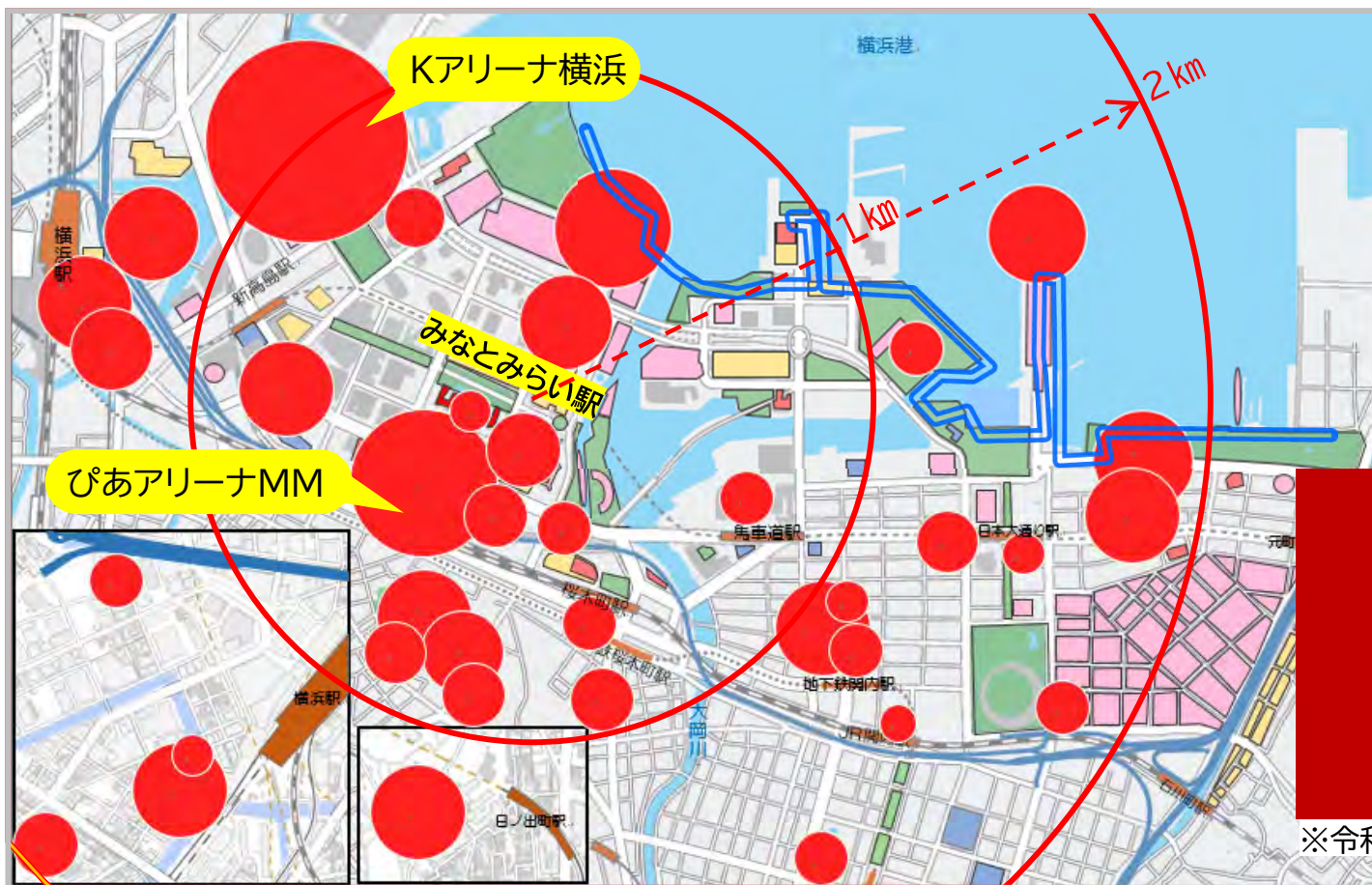
横浜を訪れる → 横浜のファンになる → 横浜に住む



「選ばれるまち」へ

2 横浜ならではの観光まちづくり

①都心臨海部の音楽施設の集積



みなとみらい駅から
半径2 km圏内

約**40**施設

総キャパシティ

約**65,000**人

主な大規模集客施設来場者数

2024年 約1,240万人



2025年 約1,340万人

約**100万**人増

※令和7年度横浜市観光動態消費動向調査より算出

2 横浜ならではの観光まちづくり

② IP連携による回遊・消費の拡大



- ・多様な事業者の方々とのコーディネート役
- ・プロジェクトを実現させる司令塔

「にぎわいスポーツ文化局」を発足 (2023.4)

【連携実績】

創設 2023年度 6件

2025年度 27件

世界に誇れる水際線「YOKOHAMA HARBORFRONT」へ

2 横浜ならではの観光まちづくり

③みなとみらいエリアの基盤整備、企業立地促進条例等を通じた民間投資の呼び込み

▶▶▶ 様々なタイプのホテルを集積させ、宿泊消費を拡大



インターコンチネンタル横浜
Pier 8
(2019年10月開業)



ザ・カハラ・ホテル&
リゾート 横浜
(2020年9月開業)



ウェスティンホテル横浜
(2022年6月開業)



三井ガーデンホテル
横浜みなとみらいプレミア
(2023年5月開業)

みなとみらいには、2019年から9ホテルが集積され、
約2,100室の増加 (市内ホテル室数増加分の45%)

市内ホテル室数の増加に大きく貢献

【市内ホテル室数の推移】

2020.1 約18,600室

約4,600室増

2025.1 約23,200室

※横浜市調べ

2 横浜ならではの観光まちづくり

平均宿泊数・日帰り立寄り箇所数・平均消費額がすべて増加

宿泊客の平均宿泊数・日帰り客の平均立寄り箇所数

	宿泊客の平均宿泊数	日帰り客の平均立寄り箇所数
2024年	1.92泊	1.66箇所
2025年	2.14泊	1.78箇所

平均宿泊数・
立寄り箇所数の増

平均消費額

	宿泊客	日帰り客
2024年	50,553円	6,077円
2025年	55,311円	6,748円

宿泊・日帰りともに
約10%UP

3 令和7年度観光動態消費動向調査結果

観光入込客数（実人数）、観光消費額ともに過去最高を更新

	2024年	2025年	増加分
観光入込客数 （実人数）	3,773万人	3,915万人	142万人 +3.8%
観光消費額	4,564億円	5,077億円	513億円 +11.2%

4 課題と今後の方向性

既に高いホテル稼働率
(2025年平均 約85%)



ホテル立地促進
(宿泊施設の容積率緩和など)

休日への需要の偏り



平日の観光客も見込める
インバウンド誘客の強化 (OTA等の充実)

消費単価に伸びしろあり



I P連携のさらなる充実による
滞在時間の延長

※OTA (オンライントラベルエージェント)
…インターネット上で取引を行う旅行会社



国内外から選ばれ、市民が誇れる
『観光都市 横浜』へ